

A 市長 液状化の問題も含めて、十分に設計業者と打ち合わせし技術的な問題はクリアできると伺っています。

Q 防潮堤の整備について。

A 市長 津波そのものを防ぐ機能は持っていませんので、近隣と話し合い、国へ防災道路の要望を考えています。

Q 海抜何メートルか電信柱等に目印を設置してはどうか。

A 市長 海岸から5キロぐらいに表示するのが有効な手段と考えています。

Q 防風林の再生について。

A 経済環境部長 北部林業事務所から関係市町村との連携を図り可能な限り工事発注に努めます。津波被害の情報収集とともに、具有保安林の効果及びその適正配置と管理等について調査・検討を行うと伺っています。

Q 昨年のさんむ200本植樹祭の苗木の現状と今後の対応について。

A 教育部長 植樹した場所は、海砂が流れ込み、クロマツのほとんどが枯れています。青少年市民会議主催の行事として、本年5000本の植樹を、11月6日に蓮沼の殿下海岸で実施する予定です。

Q 被災者支援システムの導入について。

A 総務部長 被災者のデータ管理については防災係のパソコンにより通常の範囲で、対応しています。

Q 人数が増加した場合、罹災証明だけでなく、何種類かの援助金、資金や支援金など、また免除措置のサポートについて。

A 市長 被災者支援システムについては勉強させていただき、大変役立つソフトであれば、活用します。

Q 各区・自治会の地域力のあり方について。

A 市長 市民の皆様方のお力を頂きながら行政としても、地域力は人の繋がりにあるという

考え方を根底に、地域社会の再構築を図っていかねければならないと思っています。

●教育行政について

Q 災害後の学校教育のあり方について。

A 教育長 命、生き方、暮らし方、社会のあり方、価値観、人と人、人と自然とのかかわりについて、命題を突きつけたとらえています。同時に、社会の営みの主人公たる人間を大きく育てるのあり方にこそ向けられているようその責任の重さを痛感しています。

Q 青少年育成市民会議のその後の進捗状況について。

A 教育長 今後は関係団体の方々に趣旨を御案内し、御意見をいただき、幼児から青少年に至るまでの子供たちの健全なはぐくみに資する支援体制を進めてまいります。

Q 山武市が一丸となって取り組む事がこのたび尊い命を失った方への私たちの使命と言っても過言ではありません

が、防災対策を含め各部署の課題について。

A 市長 被災をされた方々の気持ちを何とかとめ、共有していく中から市民の皆様方と行政と国県に携わる方々との立場で責任を果たしていく姿を描きたい。そこで、提言を真摯に受けとめ、できるところから取り組みます。

個人質問



本山 英子 議員

Q ●教育について 東日本大震災後の子供たちの心のケアについて。

A 教育部長 東日本大震災により、市内の園児、児童、生徒の人的被害は、幸い無く、家屋被害状況は40家庭で、60人に上っている。心を痛めている子に対し心のケアを実施している。精神的に不安定な言動をする児童生徒の調査を実施し、

各学校では心のケアを早急に対応すべく、市内全中学校に配置されている専門資格を持つスクールカウンセラー、心の教室相談員を活用し対応している。要望により高度な専門性を持つ、緊急時のカウンセリングができるスーパーバイザーを県に派遣の要請をしており、結果、子供も親も安心して過ごせているという報告を受けている。

A 保健福祉部長 保健福祉部においては、保健師が中心となり、災害による心の健康相談窓口を開設している。災害により保育料の減免対象となる子供が7名、相談窓口に来た方は、4歳、60歳代、40歳代、いずれも1名で医療機関を紹介した。今後もこの窓口は、継続して開設しておきたい。

Q 防災教育の強化について。

A 教育部長 昨年度からこの5月までに、火災、地震、不審者を想定した避難訓練を実施しているが、訓練の際には、関係者の講話等を交えて

意思と実践力を高めている。これらマニュアルに基づいた訓練に加え、今年度新たに各学校が予定している防災訓練は、まず津波を想定した訓練、避難経路を変更した避難訓練、消防署が立ち会って避難訓練、幼稚園、保育所、小学校合同の避難訓練、さらに大地震と津波を想定した避難訓練など、さまざまな被害を想定して訓練を積み重ねていく。

また、今回の震災を受けて、新たに学校が避難場所となった場合の施設の利用計画、備品リスト、学校職員の配備計画といった新しい防災マニュアルも策定した中学校がある。これらを市内全校に紹介し、市教委としても防災マニュアルを作成する中に反映していく。

Q ●小水力発電について 自家発電に対する考え方を伺う。

A 市長 各避難所における電力の不足もあつたことは事実である、そういった面では、自家発電は一定の役割を担っていると理解している。